

公表：令和 5年 9月 13日

事業所名 重症児デイサービスあいキッズ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	3		利用人数や活動内容によっては狭さを感じることもあるが、配置や活動内容の職員で話し合い相談してなるべくゆとりをもって安全に過ごすことができるよう配慮します。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	3		職員配置に関してはシフトの段階で配慮するとともに、グループ事業所からの助動ももらいながら、手薄な時間がなくなるように考えていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3		8月から介護浴槽を導入したので体格の体格の大きなお子様にも十分対応できるようになりました。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	4		4月以降新たに入職した職員もあり、そのなかで療育に関わるのが初めての職員もいるため勉強会を組めるよう検討していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	3		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	4		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	5		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1		オンラインによる研修がメインとなっています。そのため実技や実践など経験が不足する傾向にあるため事業所内で担当を決め毎月勉強会を開催できるよう体制を整えています。研修内容についても職員から希望をとり、職員同士で学び合える職場となるよう努めます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2		個別支援計画に関しては保護者との面談後に必ずスタッフでケース会議を実施し評価や新たな目標設定を検討しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	7		アセスメントシートを用いて利用児それぞれの評価を実施しております。全スタッフで共有できるようにしていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	2		2週間に1度、療育チームで週案会議をおこなっています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	2		毎週週案会議で検討をおこない様々な活動が経験できるよう内容を考えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	3		個別支援計画立案の際に長期休みに合わせた課題を話し合い週案に盛り込み活動支援を行って行くように努めます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	3		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2		毎朝打ち合わせを行ってから始業しているが、パート職員は午後から出勤のスタッフもいるため、打ち合わせ内容を毎回ホワイトボードの記載しており、そのボードを確認してから勤務開始するようにしています。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	4	1	その日のうちに必ず振り返りをおこなうことはできないが、翌日の打ち合わせで職員と情報共有をおこない統一した関りができるよう努めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	4		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	5		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	4		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	2		学校の年間計画行事予定に伴う下校時間の変更に関しては保護者の方と連絡を取りながら調整しています。学校側とのやり取りが必要な際は適時行っていきたいと考えています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	2		必要な場合は連絡体制をとれるよう主治医の確認、連絡先の確認をしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	2		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	3		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	3		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	6	3	コロナも明け、今後地域での交流活動も視野に入れていければと考えています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	7		日々の運営でスタッフが抜けられないことも多く、会議などに積極的に参加できていない現状にあります。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	5		今年度ペアレントトレーニングについての全職員研修を行っています。実践出来るようスタッフ間でも情報共有しながら支援していきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2		
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1		
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	6		コロナが5類感染症に変更となり、今年度は親子レクや運動会を実施し保護者同士の交流ができるような機会を設けました。今後継続的に実施できるよう今年度の振り返りをしていきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	11			
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1		
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	3	1	石狩市で開催されたソルウェイズ祭りでは、地域住民にもソルウェイズを知っていただけるよう事業所スタッフも参加いたしました。祭りの際に利用を検討する相談もありました。今後も積極的に参加していきたいと考えています。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2		災害対策マニュアルは今年見直し、新たに作成しなおしたため、これから職員と内容を確認していく予定です。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	1		
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	2		
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	3		身体拘束の対象者は現在いませんが対象となる利用児がいた場合は対応をしていきます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1		
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。